

監査等委員会設置会社へ

5月の決算発表で開示されましたが、6月19日の定時株主総会で定款変更が可決されると、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に変ります。何だか、よくわからない変化だと思いますが、企業のガバナンス強化が叫ばれるようになり、当社も新しい制度である監査等委員会設置会社となり、強化を図ってまいります。監査役が、無くなり、監査等委員である取締役が、今までの監査的役割を果たし、取締役になりますので、取締役会での議決権を有するようになります。監査等委員である取締役が3人以上で、その過半数が社外取締役でないとならないのですが、社外からの視点で、会社運営が適切に行われているかということが、より公正に判断されていくこととなります。会社は、新しいことや設備投資などを行っていますが、そうしたことも、適切かどうか、公正で明確な基準のもと、判断されていきます。当社も昨年度末の株主数は、899人でした。上場して20年になりますが、株主数も増加して、多くの方が当社に投資していただいています。社員の中にも、持株会等で株主になっている方も多くいますが、業績や活動において社会に多くの責任があるということを実感することが必要です。

また、常勤監査役の加藤監査役が、6月の定時株主総会で任期満了となり退任されます。監査役が制度上なくなりますので、株主総会で新たに監査等委員である取締役に上野茂様が、候補者となり株主総会で承認されると就任する予定です。

名古屋証券取引所の制度変更

当社が上場している名古屋証券取引所が、来年度より現在、1部、2部、セントレックスとしていた市場を、プレミア、メイン、ネクストと変更するそうです。上場及びその廃止基準も若干変更になりますが、当社は、このうちのメイン市場になります。特に問題となることはないようです。

自粛中に大きく変わる

コロナで自粛が続いていますが、こうしているうちにも世の中結構変わっており、我々の仕事にも変化が表れてきそうです。まず、大きな変化は、トランプ政権からバイデン政権になり、温暖化対策が大きく進み、その対応で遅れている日本も何とか対策をとっていかないと、世界から完全に

取り残されてしまうという危機にあるということです。石炭火力などで発電された電力で作られた製品は、海外に輸出できなくなる(できても課税されたり、買ってくれない)と、日本のモノ作りは完全に終わってしまいます。火力発電に依存しているという根本の電力問題の解決、太陽光、風力といった再生可能エネルギーへの転換、そして蓄電池の活用といったことは、急激に進むでしょう。再生可能エネルギーを進めるとしても時間がかかるので、原子力発電所の再稼働は、つなぎの戦略として早くに行うのではないのでしょうか。そうすると、震災前がそうであったようにオール電化や深夜電力の活用といった動きや、電気自動車の普及、そうした動きから太陽光、蓄電池の増加、そしてV2Hといった流れは、加速していく可能性があります。大手住宅メーカーを中心に新築では、ゼロエミッション住宅もかなりシェアを占めるようになりましたが、そうした住宅のさらなる普及、そして新築より圧倒的に多くある既存住宅のエネルギー改善も進むと思います。高効率なエアコンや給湯設備、窓や屋根などの断熱性向上、そして太陽光発電と蓄電池設置などが、今まで以上に求められてくるでしょう。

また、ウッドショックが叫ばれていますが、こうした動きの中で、国産材の利用が進むかもしれません。もともと、木造建設物の見直しや国産木材の利用促進は、言われていたのですが、なかなかコスト問題で進まなかったのですが、輸入木材が高騰すれば国産材の利用に目が向くかもしれません。古い人工林は、CO2吸収能力が減少しているため、利用され、植林されていくことで温暖化対策になります。

また、石綿の問題も大きな問題です。2005年ごろ以前の建材には、結構石綿が含まれており、そうしたものの撤去・解体が大きな問題となるので、現実的な解決として、かぶせる工法が増えてくるのではないのでしょうか。問題の先送りかもしれませんが、カラーベスト、ボード、天井材など石綿を含む材料の一部の解体工事を行うのは、大変効率が悪いので、解体するのなら全面的に解体を行う方法を選択し、一部なら封じ込めるようなリフォームを選択し、処分材を出さない工法を考えるのが現実的かもしれません。それは、簡単ではないのですがそうした流れだと思えます。また、作業に資格が必要になってくるので、早急に対応が必要です。

キックオフミーティング

緊急事態宣言が発令され、現在10予定されていた会議のうち、6会議が終了した状態です。6月20日まで、緊急事態宣言が延長されたので、6月に延期していた会議も含めて7月に再延期となっています。開催したところは、若い方を中心に発表をしていただいております。資料のまとめ方や発表についても、今はプレゼンも大学で習う機会も増えていると思いますが、レベルが高くなってきて、頼もしく感じます。



喫煙率について

4月の喫煙率の調査結果ですが、毎年着実に下がってはいるのですが、全国平均より高い状態は続いています。女性は、ほぼ全国平均並みですが、男性が39.1%で、全国平均27.8%より10%以上高い状況です。女性の20代と50代は、喫煙者がゼロという結果でした。また、男性の20代以下も平均を大きく下回っています。男性30代から60代までが、どの年代も同様に、平均をかなり上回っています。昔は、年齢の高い世代の喫煙率はかなり高かったのですが、徐々に下がってきて、今は平均で30%の前半ですが、当社では50%前後であり、下がっていないところが課題です。会社内での世代間ギャップ、また、男女間のギャップが大きい状況といえます。世の中では、若い世代の喫煙率の下げ止まりが言われており、それは格差社会になっていることが要因と言われています。低所得者層の喫煙率が、明らかに高いのは、全世代で言えるのですが、若い世代にも格差が広がってその傾向は顕著とのことです。その点、当社は若い世代の喫煙率は大変低いので、良い傾向と言えます。事業部別では、本社、建設事業部、住宅メンテナンス事業部が、全国平均を下回っていますが、他の事業部は平均以上です。

資格者増

ここ数カ月の間に多くの社員が資格取得に励み、資格者が増加してきています。各種施工管理技士、危険物、防除士、技能士、宅建士、建設業経理士など多くの資格者が誕生しました。女性の事務系社員の方も資格を多く取得していただいております。会社の良い刺激になっています。

熱中症に注意

暑くなってきました。自粛も多く、ストレスも多くなりがちで、体調管理の難しい時期です。熱中症には、十分注意しましょう。



施工事例紹介

- 施工場所 岐阜県中津川市
- 構造 木造2階建て
- 工事内容 害獣防除工事(ハクビシン)



施工前



施工後

■ 担当 住宅メンテナンス事業部 岐阜営業所 三浦 健太郎

夜中に天井裏を走り回る音で夜も眠れない！何とかして欲しいとのご依頼がありました。まずは対象動物の特定と侵入箇所を見定め、穴塞ぎを行います。築40年の建物には侵入の可能性がある隙間がたくさんある為、すべて補修しました。補修はステンレスネット又は補修後の数cmの隙間があると再侵入される可能性がある為、劣化がしにくく、丈夫な板金を採用しました。隙間をmm以下にすることで再侵入を防ぎました。今では夜も安心して生活を送っていただけるようになりました。

ちょっと一言

「断捨離と趣味」



法人事業部 岐阜営業所
内藤 善夫

皆様お疲れ様です。法人事業部岐阜営業所の内藤です。

梅雨の時期になり、ジメジメして過ごしづらい時期になりました。この期間は仕事にも色々影響が出て大変です。また新型コロナの影響もあり感染予防や体調管理に気を付け3密を避ける行動を取りたいです。

私事ですが、今年8月で62歳になります。60歳を境に今よく耳にする断捨離を行いました。昔から物を収集する事が趣味で、家族からはガラクタとしか理解していないような品が沢山ありました。テレビ東京のお宝鑑定団という番組を観ていても、出演者の家族からの反応が我が家と同じで笑えます。収集したものは骨董、盃、フィギュア、ポスター、企業グッズ等があります。ヤフオクやメルカリでかなりスッキリしました。しかし記念硬貨や現行硬貨は処理出来ずにいます。平成23年、24年、25年、29年、30年の一円玉が3000倍、平成22年、23年、24年、25年の五円玉が600倍のプレミアムが。発行枚数が少なかった為です。令和になってさらに価値が上がることを期待してコツコツ続けていきます。気になる方はお財布や貯金箱の中を確認してみてくださいはいかがでしょうか？

また知らないうちに物が増えてきています。

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

- ★建設事業部 岡崎店 加藤さん
- ★設備事業部 関東統括課 三輪主任 危険物取扱者(乙種4類)
- ★設備事業部 関東統括課 山寄さん 建設業経理事務士3級

お誕生おめでとうございます

- ★大阪事業部 阪神営業所 島本主任 女兒誕生

ご結婚おめでとうございます

- ★建設事業部 名古屋東店 江端主任 12月結婚
- ★東京事業部 甲信営業所 高坂さん 3月結婚
- ★リニューアル工事部 鈴木さん 4月結婚